



# かだってたんせ



令和5年1月1日発行

## 「ともに支えあう地域をめざして」

新型コロナ感染拡大から約3年、私たちの生活環境は大きく変わりました。ご近所付き合いや友人、知人との交流をはじめ、離れて暮らす家族でさえも会えない状況から、心の壁や孤独感を感じるようになってきているのではないのでしょうか。

このような中でも、地域では形を変え様々な工夫をしながら集い・つながる活動が行われています。

今回はそのような居場所、つながる活動をご紹介しますので、地域の支えあい活動の参考としていただき、みんながハッピーになることを願っています。

今後とも皆さんからの情報提供とご協力をお願いします。



## 大雄支えあいネット構成員の研修を行いました！

ご近所での助け合いを体験するため、「助け合い体験ゲーム」を使った研修会を行いました。5～6人のグループに別れ、日常生活に関する動作（ごみ出し、日曜大工、話し相手など）が書かれたたくさんのカードの中から、自分が困っていることや手伝ってほしい内容を選び、そのカードの貰い手（担い手、得意な方、手伝える方）を探すというゲームです。誰も貰い手がいなかったカードは、隣のグループに協力を求めたりして、グループを町内と仮定し助け合いの具体的な流れや困りごとなどをゲーム方式で見える化しながら学びました。

皆さんの地域でも、助け合いについて考えるきっかけとして、体験ゲームをやってみませんか。

「助け合い体験ゲーム」は貸し出しおよび説明に伺いますので、社会福祉協議会までお問い合わせください。



◎大雄支えあいネット（事務局）

横手市社会福祉協議会 大雄福祉センター内 電話：52-3311

◎横手市まちづくり推進部 大雄市民サービス課 電話：52-3905

## 「藤巻・六丁下堰 青年会主催事業」(11月6日)

毎年8月13日に青年会主催の納涼祭りを開催していましたがコロナで2年間中止となり、何か地域の皆さんに楽しんでいただけることはできないかと相談し、今回「じぇんこ漫談&昔懐かし写真展」を開催しました。

小野会長は、今自分達でできることは何か話し合い、きっかけがあれば皆さんが集って顔をみることができ、楽しんでいただけるよう企画しましたと言っていました。

参加者の皆さんは「懐かしい写真を見れて良かった」「漫談、おもしろかった」とお話ししていました。



## 「スマイル狐塚サロン 焼きもちづくり」(11月14日)

スマイル狐塚サロン(いきいきサロン)では、焼きもち作りに挑戦してみました。

子供の頃12月8日になると『病焼』として母親が作ってくれた「焼きもち」を自分達も作ってみたいくなり講師に戸田京子さんを招き教えていただきました。

一番のポイントはもち粉と小麦粉の配分と水加減。そして混ぜあわせて一晩おいてしっとりさせることでした。参加した皆さんの手際が良く順調に作業が進み、美味しい焼きもちが出来上がり、楽しい一日を過ごしました。



## 「健康の駅 精兵村さくら駅」(11月17日)

精兵村では、いきいきサロンをやっていますが、体を動かしたい、体操を試してみたいと話をしていたところ、市報と一緒に入ってきた「健康の駅」のチラシを見て、サロンとは別に小規模駅を始めることになりました。

初回の17日は63歳~87歳まで幅広い年代の8名が参加し、血圧測定、らくらく体操などを行い、思いっきり体を動かしました。

毎月最終木曜日の午前10時~11時に精兵村児童館で開催しています。地域の皆さんも是非参加してください。見学も可能です。

